

本業生かして商品開発 自社ブランド「美糖舎」

食品メーカーに原材料や添加物を卸販売する本業の強みを生かし、一般消費者の生活に潤いと喜びを届けたい。安政五年（1858）創業の老舗卸業の(株)丸太中村が、新規事業として自社ブランド「美糖舎（びとうや）」を立ちあげた。近江商人の「三方よし」と開拓精神を受け継ぎ、老舗変革に取り組む7代目 中村拓取締役営業企画室長（34）と、6代目当主 中村喜兵衛代表取締役（69）を十日町の土蔵造りの旧社屋に訪ねた。

— 昨春秋、自社ブランドを立ち上げました。その思いは。

中村室長 私たちは、皆さんが日ごろから口に使っているお菓子やパン、麺などに使われている砂糖、小麦粉、油、添加物などの原材料を食品メーカーに卸販売しています。日々、良い原材料でお客様、社会に貢献することを目指して取り組んでおりますが、一般消費者の方々には、あまり知られていない業界です。しかし、食品づくりにおいてはなくてはならない存在です。

はならない存在です。

原材料には産地、生産者、製造プロセス、機能性などさまざまなストーリーがあります。そういったことを知っている私たちが、プロが使うこだわりの原材料を選定しブレンドしたり、加工したりして、一般消費者に直接提供し喜んでもらいたいと商品化しました。作業服専門店のワークマンが、カジュアルウェアで急成長した成功例などを研究し、構想を温めてきました。

— 第1号のオリジナル商品は昨春秋に発売した機能性食品「オリゴライフ」です。

中村室長 糖として吸収されにくく、腸内善玉菌を増やすとされるフラクトオリゴ糖に、水溶性食物繊維のアカシアファイバーを掛け合わせた商品です。続いて2月には、煮出したお茶のエキスを乾燥させ、風味をしつかり閉じ込めたままで粉末化した「美糖舎カフェ」シリーズを発売しました。お湯はもちろん水にもすぐ溶け、手間をかけずに本格的なお茶が手軽に楽しめます。ほうじ茶、アールグレイ、ジャスミン茶、ルイボスティーの4種類を用意しています。当面は、大手ショッピングモールと自社のサイトのみで扱っていますが、小売店から取り扱いの依

本格的なお茶が手軽に楽しめる「美糖舎カフェ」シリーズ（左）と、オリジナル商品第1号「オリゴライフ」（右）



頼もあり、徐々に広がっていく予定です。

— 創業以来、近江商人の三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）の精神を経営理念に掲げています。

中村社長 中村家の祖先是、近江国八幡町から近世中期に山形城下十



昭和53年まで社屋として使用していた店蔵。取扱品と「決して粗悪な品は扱わぬこと」と書かれた「定」が掛けられている

自社ブランドを立ち上げた丸太中村の中村拓取締役（右）と中村喜兵衛代表取締役社長（十日町の旧社屋前で）



近江屋(株)丸太中村

創業 安政5年(1854)

設立 昭和29年(1954)1月

代表取締役社長 6代目中村喜兵衛

本社 〒990-0071

山形市流通センター1丁目12番1号

☎023・633・2727 Fax023・633・2726

E-mail:yamagata@maruta-nakamura.co.jp

日町に出店した西谷伊兵衛家に仕えた村地定八が、南部屋中村家の養子となり、分家して新たに総本家中村林兵衛家を興しました。当家はその分家です。明治二十七年五月の大火で林兵衛家は廃業し、当家もまた蔵一つを残して店蔵・店舗計6棟を全焼しましたが、当主の2代目喜兵衛が「向こう3年、万事儉約」を家訓として再建しました。

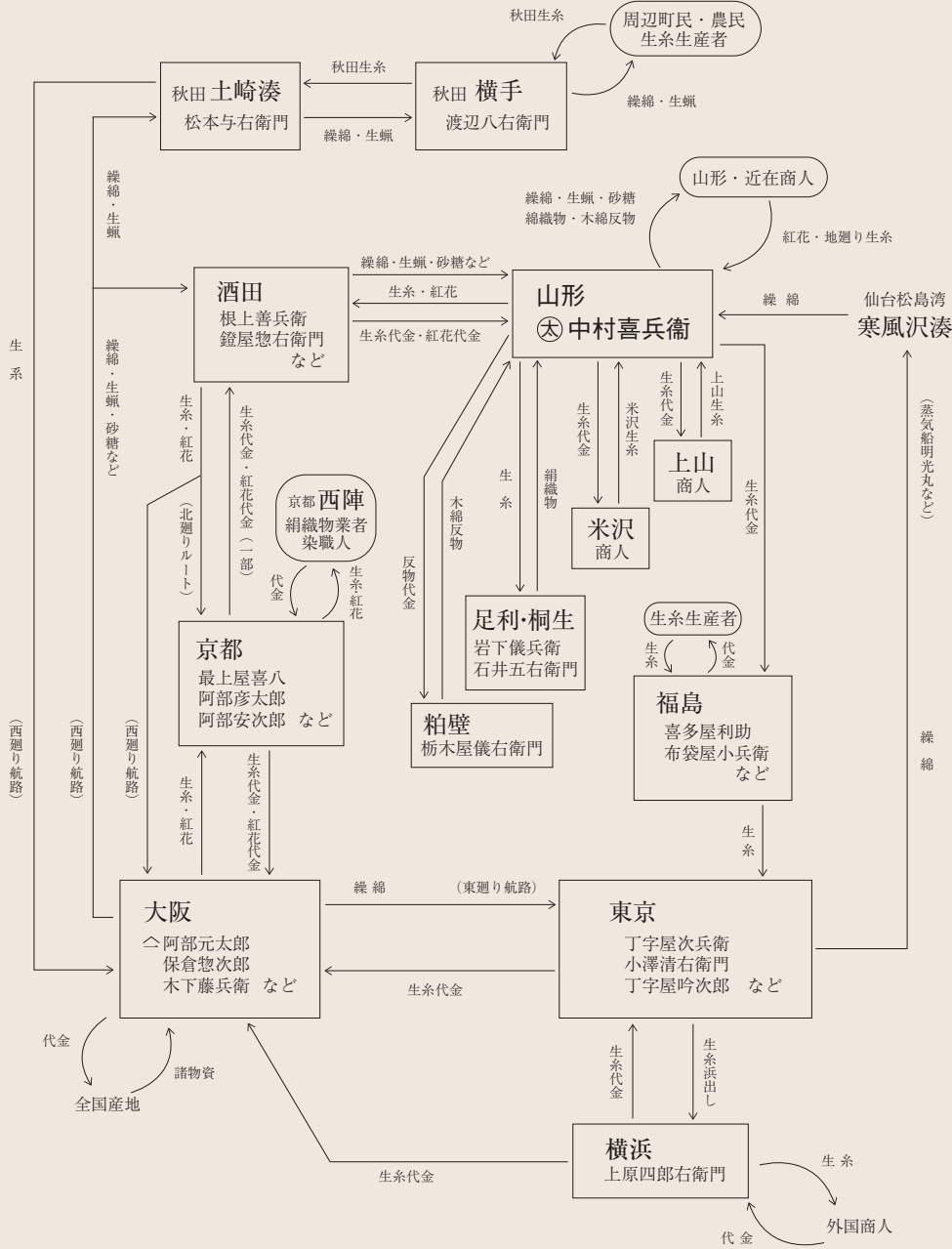
山形大学の岩田浩太郎教授が、焼け残った「萬控帳」や「出入金銭差引帳簿」などを調査し、幕末から明治前期にかけて取り扱っていた商品や店卸調高、取引先を明らかにしてくれました。それにより、山形近在、上山、米沢商人から仕入れた生糸などを最上川舟運、日本海西廻り航路、北廻りルートで大坂や京都に運び、帰り荷に練綿、生蠟、古手（古着）、砂糖、塩等を仕入れて販売する「のこぎり商い」を展開していました。

紅花も自分荷として京都の最上屋井山喜八家などに出荷していました。その商業ネットワークは京都、大坂はもとより福島、足利・桐生、横浜、東京、秋田土崎港、横手と広範囲にわたり、明治に入り蒸気船が仙台松島湾寒風沢港に運航されると、東京の間屋から繰綿を仕入れていたようです。

（次ページに続く）

図 山形十日町(⊗)近江屋中村喜兵衛家の商業ネットワーク (明治8~9年)

1875~1876



(岩田浩太郎山形大学教授 図示)

昭和に入って繊維関係が下降の一途をたどってからは砂糖や小麦といった食料品原材料が商売の中心になり、4代目当主喜兵衛は山形市議会議員や商工会議所会頭を、私の父5代目喜兵衛も商工会議所会頭や山

形県食糧卸協同組合理事長などを務めました。
—創業164年を迎えました。今後の抱負は。
中村社長 年々、食の安全・安

心、安定供給などへの関心が高まり、食品業界は大きな変化を迎えている時期であります。そのような環境の中、多種多量の食品原材料を取扱う当社独自のビジネスモデルを進化させながら、お客様にとって欠か

せないベストパートナーになることを社員一丸となって目指します。と同時に、7代目を中心となって自社ブランドを立ち上げました。新規事業は簡単ではないですが、いろいろなことに挑戦してほしいと思っています。変革は先人の教えでもあります。



昭和10年代の(株)中村喜兵衛商店

中村室長 山形東高、慶應大学を卒業。愛知県の大手自動車部品メーカーに就職した後、2012年に地元に戻りました。地方は人口減、さらに新型コロナウイルスにより厳しい状況に置かれ、閉塞感が増しています。本業に甘んずることなく、自社ブランドを充実させ、多くの方に山形の存在を知ってもらうことで故郷に貢献したい。そう思っています。